

繊維・ファッション産業活性化の鍵はDXとSX

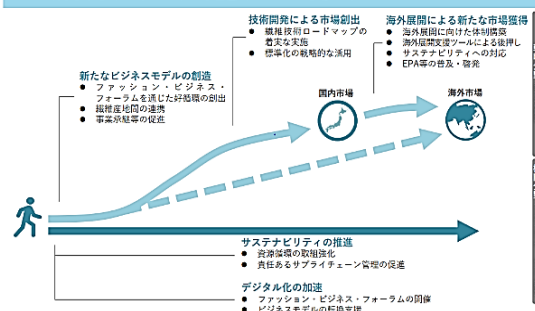
◆15年ぶりに策定された「繊維ビジョン」

2022年5月、経済産業省は、「2030年に向けた繊維産業の展望（繊維ビジョン）」と「ファッションの未来に関する報告書」を相次いで公表した。

「[繊維ビジョン](#)」は、繊維産業の進むべき方向性や政策を示すもので、2007年以来、15年ぶりに策定された。コロナ禍で加速した衣料品市場の縮小や繊維事業所数の減少など、直近の環境変化なども踏まえ、新市場開拓のための3つの戦略分野と、ビジネスの前提となる2つの横断分野の方向性や政策を提示している。

今後の繊維産業政策

●新市場開拓のための分野を戦略分野、サステナビリティやデジタル化などのビジネスの前提となる分野を横断分野と位置付け、政策を進めていく。



戦略分野では、①新たなビジネスモデルの創造（他分野・繊維産地間の連携、DtoC企業の創出）、②技術開発による市場創造（[繊維技術ロードマップ](#)を同時公表。スマートテキスタイル、分別・リサイクル技術の促進）、③海外展開による新たな市場の獲得（海外展開支援、各種

国際認証、EPA等の普及・啓発）をあげている。横断分野では、①サステナビリティの推進（サステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）による資源循環の取り組み、責任あるサプライチェーン（SC）管理）、②デジタル化の加速（DXによるビジネスモデルの転換支援など）がある。

これまでの政策の方向性から大きな転換はないが、売上低迷や人材確保などの課題に直面する産地活性化策として、年内に異業種やスタートアップとの連携や協業を促進するフォーラムを開催し、海外展開を推進する新組織を立ち上げる。

◆日本のファッションの未来を描く「10のキーワード」

「[ファッションの未来に関する報告書](#)」は、日本の文化や伝統に基づく創造性や、素材・テキスタイルの技術開発力を背景に、世界的に注目されているファッション領域の持続的な成長ために重要となる事項を先端的な事例とともに「10のキーワード」に集約している。

例えば、「需給ギャップを縮小させるビジネスモデル」では、SC全体でAIを活用した需要予測や受注生産による適量生産、服のサブスクリプションサービスは、需給ギャップを縮小させながらファッションを楽しむことができるビジネスモデルであるとしている。

「循環システムの構築」では、22年1月にフランスで施行された新品衣類の廃棄を禁止する法規制を例にあげ、ケミカルリサイクル、バイオマテリアル、静脈産業の育成の重要性を示している。

「質量のないデジタルファッション」では、メタバース（仮想空間）でのデジタルファッション市場の拡大をあげている。背景には、唯一性の価値を付与するNFT(非代替性トークン)といった新技術があり、それが新領域の開拓やビジネスの収益モデルの変革につながると分析している。また、「ビジネスで留意すべきファッションロー」では、グローバル化とデジタル化に向けた基礎知識として、知財権や契約交渉などの法的リテラシーの向上を説いている。「未来に求められる人材論」では、モノづくりやビジネス人材のほか、アート、デジタル、ライフサイクル（LCA推進・管理など）分野などの人材育成が急務であるとしている。

- 「10のキーワード」
1. 需給ギャップを縮小させるビジネスモデル
 2. 良いモノを長く楽しむファッション文化
 3. 循環システムの構築
 4. 質量のないデジタルファッション
 5. 創造性の発揮を支援するテクノロジーの台頭
 6. 創造社会の新しい市場ルール
 7. ラグジュアリー概念のアップデート
 8. これからの海外需要獲得
 9. ビジネスで留意すべきファッションロー
 10. ファッションの未来に求められる人材論

◆繊維・ファッション産業の成長戦略に不可欠なDXとSX

「繊維ビジョン」と「ファッションの未来に関する報告書」に共通するのは、IT・デジタル技術でビジネス変革を目指すDXと、企業の稼ぐ力とESG（環境・社会・ガバナンス）の両立を図りながら、サステナブルな経営を目指すSXである。

DXは、原料・糸づくりから最終製品まで、複雑な工程が特徴である繊維事業の効率化や、デジタルファッション市場への参入など新業態への転換を推進する。

一方SXについては、生産から廃棄の工程のGHG排出量の削減、SCにおける強制労働などによる人権侵害への対応、資源の再資源化など、国際的にサステナビリティに関する課題の早急な解決が求められている繊維・ファッション産業では、必須の取り組みとなる。

繊維の2つの報告書のDXやSXの取り組みは、デジタル化やグローバル化、サステナビリティへの対応を進める他産業にも参考になるかもしれない。【新井佳美】